

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

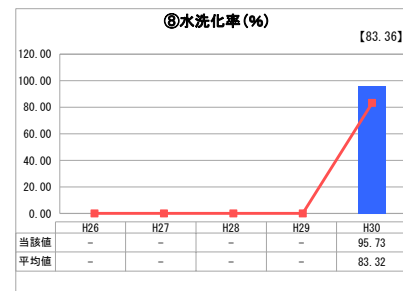
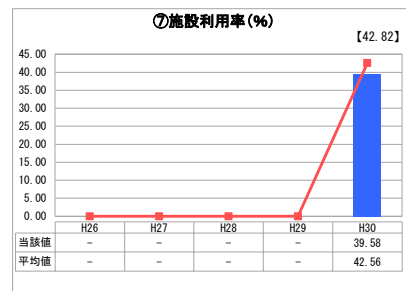
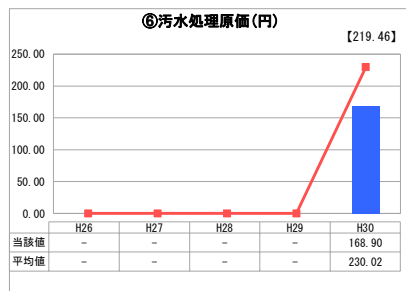
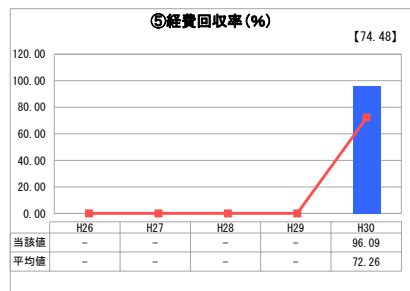
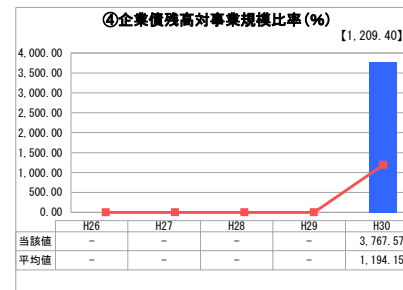
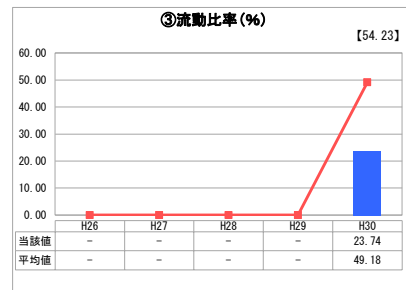
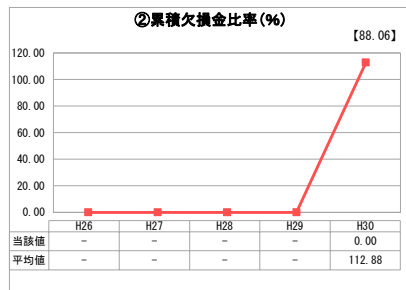
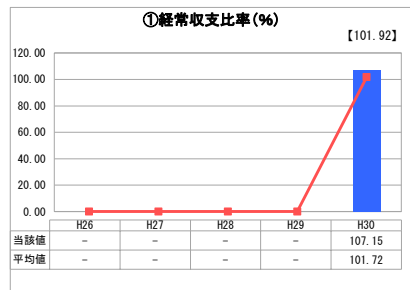
石川県 七尾市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり敷底料金(円)
-	47.69	11.58	87.25	3,348

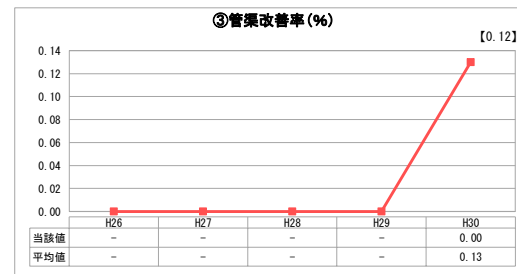
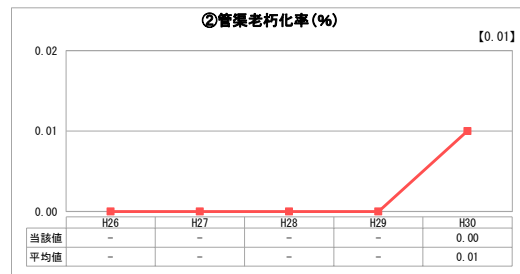
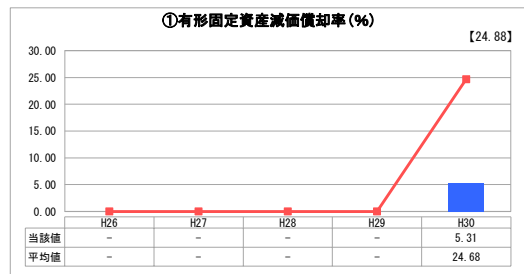
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
52,940	318.29	166.33
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
6,088	3.30	1,844.85

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

③流動比率がかなり低い数値となっているが、流動負債に建設改良に充てた企業債が多く含まれており、使用料の改定により一部をその償還に充てることを予定している。

④企業債残高対事業規模比率は、使用料収入に対し整備事業に要した企業債の残高が大きいことから類似団体と比較すると高い状況にある。

⑤経費回収率及び⑥汚水処理原価については、分流式下水道等に要する経費の見直しにより、平成28年度から数値が改善されている。

⑦施設利用率は、人口減少による有収水量の減少により減少傾向にあり、類似団体と比べ若干低い状況にある。

⑧水洗化率は、新規接続等により増加しており、類似団体と比べ高い。

### 2. 老朽化の状況について

管渠は、更新工事が必要となる老朽化は見られないが、マンホールポンプは、処理場近くの稼働率の高いポンプ等で修繕や更新を行っている。

処理場は、機械設備や電気設備の老朽化に伴い更新が必要な状況にあり、長寿命化計画に基づき順次対応している。

今後、腐食が発生しやすいヒューム管等の管渠の更新費用の増加が見込まれる。

### 全体総括

更なる水洗化率、収納率の向上と使用料の見直しにより収入の確保に努め、処理区に隣接する農業集落排水事業など他の事業との処理区の統合を行い、施設利用率を上げることにより経費回収率の向上や汚水処理原価の低下を図る。

管渠や処理場等の更新事業については、将来的な処理水量等を適切に把握し、施設規模の見直しなどにより更新費用の削減を図る。また、更新需要を適切に反映させた更新計画を計画的に実施することで費用の平準化を図り、経営の健全化に努める。

なお、当該事業は平成30年度より地方公営企業法の一部を適用している。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。